

# 令和4年11月定例会付議事件等

## (補正予算)

### 【予算規模】

区 分	補正前の額	補正額	補正後の額
	千円	千円	千円
一 般 会 計	28,570,000	1,601,000	30,171,000
基 金 特 別 会 計	155,800	3,400	159,200
施 設 運 営 事 業 会 計	5,187,000	252,000	5,439,000
埋 立 事 業 会 計	1,783,000	—	1,783,000
計	35,695,800	1,856,400	37,552,200

(注) 施設運営事業会計及び埋立事業会計については、それぞれ収益的支出及び資本的支出の合計額である。

### 【予算概要】

#### 一般会計

国庫補助事業等の内示差に伴う増額 ○船見ふ頭岸壁改良等 〔財源：国庫支出金、組合債等〕	千円 864,800
緊急的に必要な工事費の増額 ○中川運河護岸補修等 〔財源：繰越金〕	722,900
原油価格高騰の影響による光熱水費の増額 〔財源：繰越金〕	13,300
一般会計 補正額	1,601,000

#### 基金特別会計

寄附金等の積立金の増額	千円 3,400
基金特別会計 補正額	3,400

施設運営事業会計

埠頭用地整備 金城ふ頭埋立地の埋立工事費の増額	千円 252,000
施設運営事業会計 補正額	252,000

(予算以外の議案等)

【条例】

《職員の育児休業等に関する条例の一部改正について》

(令和4年12月1日実施予定)

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、育児休業の取得回数の制限を緩和する等の必要があるため改正する。

○改正内容

- 取得回数制限の緩和
- 非常勤職員が子の出生後8週間以内に育児休業を取得する場合の任期要件の緩和

【その他議案】

《指定管理者の指定について》

公の施設の管理を行わせる必要があるため、指定管理者を指定する。

【公募5件、非公募1件】

施設の名称	指定管理者となる団体 (指定管理者候補者)	指定の期間	応募団体数
新舞子マリンパーク、南浜緑地及び北浜緑地	株式会社日誠	令和5年4月1日から 令和10年3月31日まで (5年間)	3団体
中川口緑地始め7緑地	公益財団法人名古屋港緑地保全協会		1団体
富浜緑地(名古屋港ゴルフ倶楽部(富浜コース)等を除く。)始め8緑地	公益財団法人名古屋港緑地保全協会		1団体
名古屋港ゴルフ倶楽部(富浜コース)等	株式会社ウッドフレンズ		2団体
名古屋港ポートビル※ 及びガーデンふ頭臨港緑園	公益財団法人名古屋みなと振興財団		1団体
名古屋港水族館	公益財団法人名古屋みなと振興財団	令和5年4月1日から 令和15年3月31日まで (10年間)	非公募

※ 名古屋港ポートビルは、南極観測船ふじ、ポートハウス及びガーデンふ頭駐車場を含む。

## 《権利の放棄及び和解について》

○中川運河沿い公有地における、相手方（令和3年11月4日破産手続開始）の原状回復（建物等撤去及び土壌汚染対策）に係る請求権を放棄すること等についての和解

## 《訴えの提起について》

○建物収去土地明渡及び未納貸付料等支払請求事件

中川運河沿い公有地における、相手方建物の収去及び不法占拠土地の明渡し未納貸付料（5,580,955円）及び遅延利息並びに不法占拠に伴う損害金

○損害賠償請求事件

金城ふ頭内における埠頭保安設備破損事故による損害金（5,977,917円）及びその遅延利息

## （報告）

### 《令和3年度名古屋港管理組合公営企業の資金不足比率の報告について》

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、本組合公営企業（施設運営事業会計・埋立事業会計）の資金不足比率（＝「資金不足なし」）の報告

## （議員総会その他説明資料）

### 《名古屋港審議会提出予定案件》

○名古屋港港湾計画の軽易な変更について

#### ● 中川運河北支線

「堀止緑地」と「広見憩いの杜」間のプロムナード等を整備し、周辺開発と連携して港湾環境の魅力向上を図るため、港湾環境整備施設計画及び土地利用計画を以下のように変更する。

➤ 港湾環境整備施設計画

中川運河緑地（北支線） 0.5ha 【新規】

➤ 今回変更に伴う中川運河全体の土地利用計画

緑地 5.1ha ⇒ 5.6ha (0.5ha増)


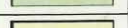
港湾関連用地 44.8ha ⇒ 44.6ha (0.2ha減)



【変更前】



【変更後】

凡例	
	緑地（今回計画）
	緑地
	港湾関連用地

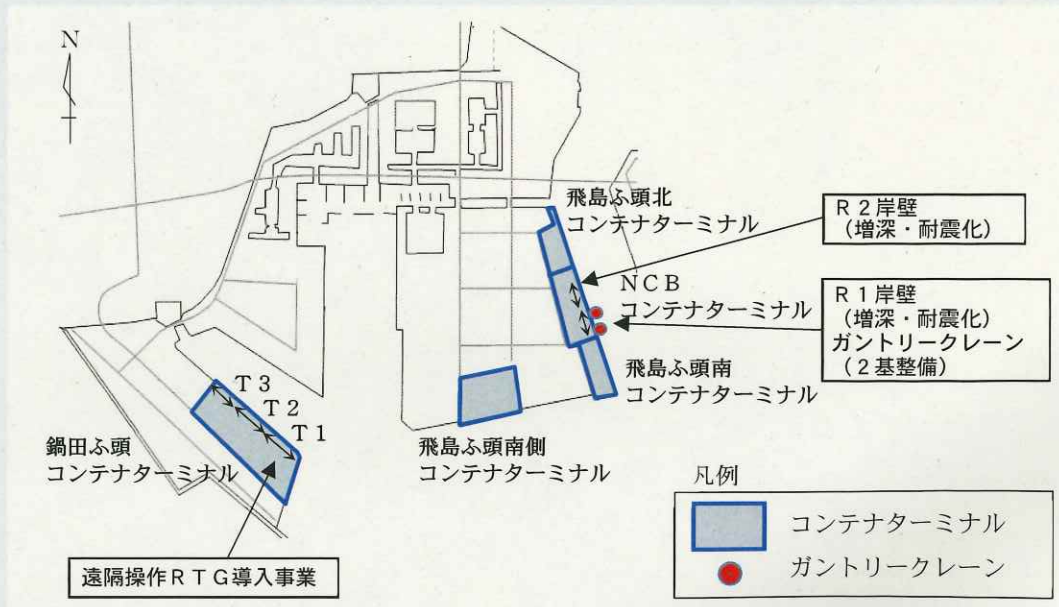
## ○港湾環境整備負担金対象工事の指定について

- 令和4年度に徴収する港湾環境整備負担金の対象工事として、中川運河（堀止）緑地整備工事などを指定する。
- 負担金徴収予定額は102,928千円（1㎡当たりの負担金額3.66円）

## 《国際競争力の強化に向けた取組について》

### ○コンテナ取扱機能の強化

- 飛島ふ頭NCBコンテナターミナルにおいて、国は、岸壁の増深及び耐震化に取り組んでおり、R1岸壁の改良工事が完了し、名古屋四日市国際港湾（株）が、大型ガントリークレーン（22列対応）2基を設置して、令和4年10月1日に供用を開始した。引き続き、R2岸壁の早期完成に向けて取り組んでいく。
- 鍋田ふ頭コンテナターミナルにおいて、ターミナル運営者である名古屋ユナイテッドコンテナターミナル（株）により、遠隔操作RTG導入事業が行われており、令和4年4月にT3（10基）で運用が開始され、引き続きT2、T1への導入に向けて準備が進められている。



### ○港湾の管理運営の効率化

- コンテナ物流の環境変化や新たなニーズに迅速かつ柔軟に対応するため、令和4年4月より名古屋四日市国際港湾（株）の企画、集貨部門を機能強化し、また、港湾の管理運営業務の効率化に向けては、名古屋港埠頭（株）を本組合の行政機能を補完する団体として活用することを検討している。
- 名古屋港及び本組合行政のデジタル化の取組を加速させるため、「DX推進計画」を令和4年内に策定し、年明けに公表するよう取り組んでいる。

## 《親しまれる港づくりについて》

### ○名古屋港水族館

#### ● 入館者数

令和4年9月末日現在

期 間	令和元年度	令和2年度(※)	令和3年度	令和4年度
4月～9月	136.5万人	47.0万人	66.5万人	113.9万人

※ 令和2年4月1日～5月24日 臨時休館

- **財源確保に向けた取組**として、希少な飼育生物である**エンペラーペンギンのオリジナルグッズ**(換羽した羽根を利用したダウンマフラー等)を返礼品とする**クラウドファンディング**を実施している。(9月28日～10月30日)

- **水族館やポートビル施設の回遊性を高めるため**、ガーデン緑園総合案内所南側から水族館までの**防潮壁に、飼育生物やポートビル施設を紹介する大型ラッピング**を設置した。



【クラウドファンディング】  
(ダウンマフラー)

### ○クルーズ船

- 国内クルーズ船については、「名古屋港におけるクルーズ船受入の際の感染拡大予防マニュアル」により感染症対策を徹底し、安全・安心な受入れを進めている。また、外航クルーズ船については、感染症の影響により令和2年から寄港はないものの、国が感染症に関するガイドラインの作成に向けた準備を進めており、国の動向を注視し、適切に対応していく。
- ガーデンふ頭において老朽化した3号岸壁の改良を進めているが、工程調整をしながらクルーズ船の受入れを行っている。

#### 【クルーズ船入港状況】

令和4年9月末日現在

ふ頭別	令和元年実績	令和2年実績	令和3年実績	令和4年	
				実績 (1～9月)	申込隻数 (10～12月)
ガーデンふ頭	33隻	7隻	14隻	12隻	10隻
金城ふ頭	6隻	0隻	0隻	0隻	0隻
計	39隻	7隻	14隻	12隻	10隻

### ○ガーデンふ頭再開発

- 更なるにぎわいや新たな魅力の創出に向けて策定した「ガーデンふ頭再開発基本計画」(平成29年9月)に基づき、再開発に取り組んでいる。
- こうしたなか、民間事業者等からのヒアリングや再開発の実現に向けた仕組みづくりの検討を進めるに当たり、幅広い助言や意見を得るため、**有識者会議を設置**し、令和4年9月1日に第1回会議を開催した。



【ガーデンふ頭】

## ○中川運河の再生

- 「にぎわいゾーン」を中心に様々な施策を実施しており、バーミキュラビレッジ前面のプロムナードについて、令和4年9月に工事着手した。
- 昭和橋地区で実施していたにぎわい施設の公募については、令和4年7月に山和製麺株式会社（製麺工場及び飲食店）を事業予定者に決定した。
- 「中川運河再生計画」は、策定から10年が経過することから、その更新に向け、これまでの取組の点検・検証を名古屋市とともに進めている。



【 中川運河 】



【 昭和橋地区 製麺工場及び飲食店 イメージ図 】



【 にぎわいゾーン拡大 】

## ○金城ふ頭の交流拠点開発

- 「モノづくり文化交流拠点構想」に基づき、名古屋市による交流拠点開発が進められ、国際展示場新第1展示館等が令和4年10月1日に供用開始されている。
- 交流拠点開発が物流機能に支障をきたさないよう、名古屋市は交通案内看板の新設や歩行者デッキの整備等の交通対策を行い、現在、その効果を検証するための交通量調査を進めている。



【 国際展示場新第1展示館 】



【 歩行者デッキ 】

## (カーボンニュートラルレポート形成推進特別委員会資料)

### 《カーボンニュートラルレポート (CNP) 形成の推進に向けた取組について》

名古屋港においてCNPの形成を推進していくためには、民間事業者が脱炭素化に向けた事業展開をしやすい環境をつくりだすとともに、CNP形成計画を策定し、関係者間で共通の目的意識を持って取り組んでいくことが重要である。

#### ○名古屋港における民間事業者等の取組

- 中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議

本組合も参画し、水素・アンモニアを活用したサプライチェーンの実現を目指した取組を進めている。

- 海外輸入水素の受入・配送事業に関する実現可能性調査

トヨタ自動車(株)始め5者により受入基地の候補地である知多方面において、ノックアウトファクター(事業上の重大な影響を及ぼす項目)は確認されなかったことが示された。

- 水素利活用モデル構築に関する調査

豊田通商(株)始め5者による調査が行われており、年代別に、名古屋港における事業の成立要件を検討していくことが示された。

#### ○本組合の取組

- ロサンゼルス港とのCNP形成に向けた情報共有

令和4年6月に、水素利活用の拡大に向けた取組について、オンラインで情報共有を行った。

- 名古屋港CNP形成プラットフォーム(事務局:中部地方整備局及び本組合)

脱炭素化に向けた取組を活発化させることを目的に令和4年7月に設置。脱炭素化に向けた行政や民間事業者の取組を共有している。

#### ○名古屋港CNP形成計画の策定に向けて

- 第1回名古屋港CNP形成協議会(事務局:本組合)

令和4年7月に開催。名古屋港の目指す方向性を確認するとともに、CNP形成に向けた方針や、目標年次、計画の対象範囲などについて議論を行った。

## ● 名古屋港CNP形成計画の骨子と考え方

項目	記載事項・考え方
CNP形成計画における基本的な事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ <u>名古屋港の目指す方向性</u> ものづくり産業の成長と地域のカーボンニュートラル実現の両立に貢献していく。</li> <li>➢ <u>CNP形成に向けた方針</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨海部産業やターミナルにおける脱炭素化など</li> <li>・ 次世代エネルギー供給拠点の形成など</li> </ul> </li> <li>➢ <u>計画期間、目標年次</u> 計画期間：2050年 目標年次：2030年度及び2050年</li> <li>➢ <u>対象範囲</u> 臨港地区及び港湾区域内を基本とする。</li> </ul>
温室効果ガス排出量の推計	アンケートやヒアリング調査により得られた情報を基に、現在作成中
温室効果ガスの削減目標及び削減計画	
水素・アンモニア等供給目標及び供給計画	
港湾・産業立地競争力の強化に向けた方策	<p>物流や産業活動におけるカーボンニュートラルの実現のための取組について記載する。</p> <p>(例)・船舶への陸上電源供給施設の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水素ステーションなどによる次世代エネルギーの供給体制の構築</li> <li>・ 次世代エネルギーの需要拡大期におけるポートアイランドの受入拠点としての利活用の可能性</li> <li>・ 次世代エネルギーに関する規制の見直しや新たな支援</li> </ul>
ロードマップ	2050年までの期間を対象にロードマップを作成する。
対策の実施・進捗管理・公表	協議会において進捗状況を定期的に確認し、社会・技術動向を見極めつつ、適宜計画の見直しを行う。

## ● 今後の取組

名古屋港CNP形成計画の令和4年度中の策定に向け、第2回名古屋港CNP形成協議会を令和4年10月25日に開催し、議論を深めていく。